

八頭町の地方創生又は第3次八頭町総合計画及び第3期八頭町総合戦略策定に関する意見・提案等

10の個人、団体から34項目にわたる意見を頂戴しました。いただきましたご意見は、八頭町地方創生町民検討委員会及び八頭町若手職員政策提案プロジェクトチームにも共有させていただき、町として次期総合計画及び総合戦略並びに次年度以降の具体的な施策の検討に当たっての参考とさせていただきます。

2024.08.19受付終了版

番号	提出者	区分		意見の内容	対応方針	
		計画	戦略		方向性	方針
	八頭町小・中学校PTA連絡協議会	○		<安全な教育環境 子どもが安全に教育を受けられる環境の整備>		
1				・町内小中学校体育館にクーラーを設置する。県内2%の設置率を八頭町は100%へ。熱中症のリスクを軽減	今後、施策の検討・実施の際に考慮	学校体育館におけるエアコンの設置については建物の構造や特性も考慮した対応が必要であると考えますが災害時の避難所にもなっていることから、その財源確保を含め検討していく必要があると考えます。
2				・スクールバス利用に伴う諸問題の解決	今後、施策の検討・実施の際に考慮	スクールバスについては、運転手不足が深刻な問題となっていますが、バス会社、学校とも協議しながら今後も引き続き運行について協議、検討を行っていきます。
3				・現在行われている子育て支援事業の継続	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	引き続き子育てしやすい環境づくりを進めてまいります。
		○		<産業創出と担い手育成>		
4				・大規模な企業が周辺地域にできている状況を踏まえ、働く世代の定住地として魅力をアピール	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	YouTube、X等の様々な媒体や機会を活用し、八頭町の魅力を国内外に向け発信してまいります。
5				・新興住宅地の一極集中でなく町全体に住宅地が点在できるよう町の計画で行う。	今後、施策の検討・実施の際に考慮	宅地造成については、地域の需要を把握しながら町営住宅の集約、空き家の活用等と併せて検討したいと考えます。
				・農業新規就労者について、若年者へのサポートの充実		
6				①高校から就農になるものはほとんどいない。専門の学校に進学し、資格取得し就農をしている状況である。町内からの進学者へ、町内就農を条件とした補助金等を設置するなど若年者の就農意欲につながる。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	町内での就農に当たっては、県の奨学金返還助成制度や就農に向けた研修指導農家での実践研修を行う方への国の補助制度があるほか、町でも令和6年度より先輩農家の果樹園で栽培技術の研修等を行う研修生への資金支援の取り組みを始めたところです。今度も新規就農者の確保・育成に向けて様々な支援策を進めてまいります。
7				②スマート農業を始めるに当たり、ドローン等の資格取得に20万から30万かかる。取得しやすいよう一部補助を設ける等就農に関する資格取得の補助金を設置する。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	スマート農業の実施に当たっては県の補助制度がありドローンの免許取得も対象となっております。町内でも認定農業者、新規就農者等担い手を中心にスマート農業の普及が進んでいるところです。
		○		<男女共同参画社会の推進事業>		
8				・女性の働き方、ワークライフバランスを自分らしく推進していける為に不妊治療への助成、子育て支援の充実、職場研修や再就職支援。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	子育て支援や子育てしやすい環境づくり、就労支援等を行いつつ、性別に関わらず誰もが仕事と家庭の調和を保ちつつ活躍できる社会づくりに取り組みます。
9				・コロナ禍で希薄となってしまっている様々な活動のコミュニケーション不足を補うための新しい体系づくり。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	各地区のまちづくり委員会が行っている地域福祉活動が様々な人たちが集まりコミュニケーションを取れる場となっており、今後もこのような取組が活発に行われるよう、町としても支援してまいります。
10				・集落役員の女性登用がなかなか進んでいない。人口減少していく中で集落内における女性の活躍を後押ししてほしい。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	区長会等において、自治会の役員登用等、地域における女性の参画が進むよう、意識啓発等実施してまいります。
11				・女性の視点を取り入れた現実的な防災・防犯の充実	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	講座・研修会の開催や、防災備品を使った体験等を行い、防災時における女性の視点を取り入れた防災啓発等に努めます。

番号	提出者	区分		意見の内容	対応方針	
		計画	戦略		方向性	方針
12			○	・住みたい、住み続けた八頭町 愛着や誇りを持ってもらえるような「ふるさと学習」（小・中・高を通じて）	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	町内の小中学校では、「ふるさとキャリア教育」として、町内の様々な立場の方との交流を通して八頭町の魅力を感じられる学習を進めているほか、八頭町の先人の生き方から学ぶ学習を行うなど八頭町への愛着や誇りを持てるような学習を意識的に取り入れているところであり、今後も引き続き取り組んでまいります。
13				・子育てしながら働く、介護しながら働く等個々の条件に合った働き方が選択できる支援。保育園、病児保育、一次預り、見守り、家事代行の充実。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	子育て支援や就労支援を行いつつ、性別に関わらず誰もが仕事と家庭の調和を保ちつつ活躍できる社会づくりに取り組みます。
14				・八頭町で子育てしたい、田舎、中山間地に住みたいと思ってもらうには、交通、買い物、医療等の不便さを解消しなければ難しい。その不便さを上回るメリットが必要。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	地域公共交通の維持や生活に必要な買い物環境の整備について、デジタル技術wo活用しつつ不便さの解消に努めてまいるとともに、町民が安心して医療サービスを受けることのできる医療体制の確保が図れるよう努めてまいります。
15				・八頭町の魅力を（イメージだけではなく、例えば移住者の声など）発信する。ケーブルテレビの活用等（町外では視聴できないか…）。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	YouTube、X等の様々な媒体や機会を活用し、八頭町の魅力を国内外に向け発信してまいります。
	部落解放同盟	○		<最重要課題である「人権政策」について>		
16	八頭町協議会			・八頭町部落差別撤廃及び人権擁護に関する条例の改正の実施を要望（智頭町では、部落差別を禁止すると明記されています。）	今後、施策の検討・実施の際に考慮	審議会等で検討します。
17				・教育啓発の普及とインターネットにおける人権侵害について モニタリング調査の実施と、学校教育における同和問題についての学習。ネットの書き込みによる人権侵害（差別事象）が県内で発生しています。学校教育の中でも高い情報リテラシーが求められます。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	鳥取県ネットモニタリング・ネットワークと連携を図り、引き続きモニタリングを実施するとともに、学校の年間指導計画の中に情報モラルに関わる学習を取り入れ、児童・生徒の発達段階に応じた指導を行います。
18		○		人口減少対策として安心して子育てできる環境づくりが必要ではないかと考えています。 ・児童館の運営について 子育て支援対策と子どもの居場所としての児童館の充実を図る。施設のハード面と、職員の処遇改善が必要と考えます。	今後、施策の検討・実施の際に考慮	施設の多機能化等により、児童館事業の充実を図ります。
19	八頭町保育所保護者会	○		・基本計画の基本目標⑤「活力ある産業づくり（産業・観光・雇用）」に取り組むことを希望します。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	引き続き地域産業の振興に取り組んでまいります。
20		○	・移住定住がうまくいけば、定住者からの起業等があったりと、若桜町の方ではあったようです。支援をしなければなりません、移住定住者の方からSNS等での発信をしてもらい、八頭町の良さを伝わりやすいのかなと思ったりします。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	現状、地域おこし協力隊により本町の魅力発信が行われているところですが、町としてもYouTube、X等の様々な媒体や機会を活用し、国内外に向け八頭町の良さを発信してまいります。	
21			・スポーツ合宿誘致等でも環境が良ければ次年度の候補にも上がりやすく人の往来も増えていくと思います。	ご意見としてうかがいました	本町のスポーツ施設については、合宿誘致等を想定したものではありません。また、合宿となれば宿泊や食事等の施設も必要となってくることから、それらの環境も併せて考えていくことが必要となります。	

番号	提出者	区分		意見の内容	対応方針	
		計画	戦略		方向性	方針
22	八頭町商工会	○		理念条例（意識は大事） ①「地域ルール」（地域教科書）の創設のため、②各種団体長の集合ではなく、地域の老若男女（有志）Ｕターンの方構成の委員会を作り（行政も縦割りでなく参加）、③地域が永続できる方法を考え理念条例をしたためていく。永続できるためには女性の生産労働人口の定住はかせない。その多くは①経済的負担の軽減②仕事の両立がきついで悩みがある③地域は住みやすいか（新しいものへの偏見・決めつけ）それらを表に出し理解する。受け入れる側も「してもらいたくないこと」名記することで互いがすくわれる。	ご意見としてうかがいました	八頭町自治基本条例（平成24年八頭町条例第35号）及び八頭町男女がともに輝くまちづくり条例（平成17年八頭町条例第24号）に基づき、引き続き「町民が主役のまちづくり」「男女共同参画によるまちづくり」のための取組を進めてまいります。
23				①「Ｕターン」人口の増加は、八頭町でも52（23年）人で他町にひけをとらない。何が良くて、来町定住されたのかを聞く機会は設けられているとは思いますが、地域社会の維持には大きな力となっている。もう一肌脱いでもらい「縁結び」「新婚当事者」となっていただく秘訣をいただく場・集いを創設	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	婚活支援については、民間の知見を活用しながら時流に合い、より多くの方に参加いただけるよう取り組んでまいります。
24			○	②独身のメリットの上位2つは、①行動、生き方が自由（78%）②家族を養う責任がなく気楽など少々嘆かわしい発想があがっているが、すべてはこれまでの社会教育の結果であろうと思われる。「ふるさとキャリア教育」の充実を地域との実践的なかわりをもつことで上記の発想は地域どころか日本が危ういことを理解してもらい機会にしていきたい。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	町内の小中学校では、「ふるさとキャリア教育」として、町内の様々な立場の方との交流を通して八頭町の魅力を感じられる学習を進めているほか、八頭町の先人の生き方から学ぶ学習を行うなど八頭町への愛着や誇りを持てるような学習を意識的に取り入れているところであり、今後も引き続き取り組んでまいります。
	個人	-	-	<子供の教育環境・子育てについて>		
25				・福岡県古賀市のように夏休みを短縮し（古賀市は39→25日間）6校時の日を減らし（古賀市では週4→1）教員と児童の負担を減らす。教員のなり手不足の解消を目指す。 保護者も子供の昼食（児童クラブであれば弁当）の準備が負担に感じる。長期休暇明けに不登校やウツ症状当が現れやすいのでその改善も期待できる。	ご意見としてうかがいました	夏休みは、子どもたちにとって様々な経験をする貴重な期間であるとともに、なによりたいへん楽しみにしている期間でもあると思います。このようなことを踏まえた上で、児童・生徒、保護者、教職員それぞれにとって最適な方法について、十分な協議と検討が必要と考えます。
26				・子どもが安心安全にスポーツに取り組めるように体育施設の冷暖房完備・屋外プールに（簡易的に）屋根の設置を希望する。	今後、施策の検討・実施の際に考慮	学校体育館におけるエアコンの設置については建物の構造や特性も考慮した対応が必要であると考えますが災害時の避難所にもなっていることから、その財源確保を含め検討していく必要があると考えます。プールの屋根の設置については、財源的に困難であると考えます。
27				・やずバスは乗車人数が少ないので路線や時刻の見直しが必要と感じる。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	公共交通の効率的な運行に取り組んでいくほか、適宜路線や時刻の見直しを行ってまいります。
28				・遠距離通学児のスクールバスのようにスポ少や習い事の送迎等の整備が整えば少子化でも学び舎運動の質の低下や機会の喪失を防げる。→運転手の賃金を見直し、なり手不足を解消	ご意見としてうかがいました	スクールバスは、義務教育である小中学校への通学が遠距離となる児童生徒に対しての通学援助として行っているものであり、各個人が希望して行うスポ少や習い事は、全く性質が異なるものであることから送迎を行うことはできないと考えます。
29				・看護休暇とは別に児童1人につき3日程度の有給制度を設ける。保育所や学校の参加日、懇談等が平日のため。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	町内の事業所においても、育児や介護等を抱えながらも働きやすい職場づくりが進むよう取り組んでまいります。

番号	提出者	区分		意見の内容	対応方針	
		計画	戦略		方向性	方針
30				・高校卒業までに児童にかかる費用（教材費、制服代、給食費、児童クラブ等含む。）が無償に近くなれば必ず子供の数は増える！	ご意見としてうかがいました	現在、八頭町では、給食費について町が一部負担を行っているほか、教材費や制服代等に関連して小中学校の新入学生に入学お祝い金を支給しています。また、生活が困窮している保護者に対する学用品、給食費、その他教育費用の支援も行っております。さらなる支援充実に関しては、財源の問題もありますので、国や県に対して必要な措置を要望していくとともに、町としては引き続き子育てしやすい環境づくりを進めてまいります。
31	個人	-	-	子育て世代です。地方創生や観光客、移住の誘致などに関して、今後ターゲットになるのはやはり子育て世代かと考えています。 ひとつは観光誘致にも繋がる遊び場。子育て世代は子供を遊ばせたり色々な体験をさせたり休日等を過ごす場を常に探しており、時間、労力、お金をいといません。 良い遊び場があれば遠方でも県外でも入園料があっても行きます。逆に言えばそういった施設があれば県外、遠方からでも八頭町に来て貰えるチャンスはかなりあると考えます。 具体的には、雨の日でも昨今の酷暑でも遊べ、昼食を食べたり過ごせるような「屋内」での遊びに特化した施設。 八頭町、鳥取市近辺において圧倒的に子育て世代向けの屋内施設が少なく遊び場難民も多いです。 都会のような屋内砂場などあればかなり売りになるかと思いますが、人気の車、電車、女の子向けのおもちゃ、珍しいおもちゃ、体を動かせるアスレチックなど子育て世代向けにプロデュースした屋内施設を整備すれば観光地化、かなり売りになるかと思いますが、ピンポイントな意見で申し訳ないですが現状とても狙い目の分野かと思いますが、是非ご検討下さい。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	子どもの遊び場整備については、以前より多くの要望をいただいておりますが実施には至っておりません。現在、策定作業中の令和7年度以降5年間の計画である「第3期八頭町子ども・子育て支援事業計画」においても、安心して外出できる環境の整備について規定し、引き続き整備に向けた協議等行っていく予定としています。引き続き子育てしやすい環境づくりを進めてまいります。
32	個人	-	-	町内保育所の保育サービスの平等化が不十分である。例えば、新しくできた保育所は駐車場や園庭が広く、スチコンが入って一度に多くの調理が可能であるが、一番園児の多い郡家保育所は駐車場、園庭も狭く、運動会などは他の場所を借りないとできない状況である。 子供たちがのびのび成長できるよう、どの保育所でも同じ保育サービスが受けられるように保育所の整備が進めば良いと思う。	今後、施策の検討・実施の際に考慮	全ての町立保育所において延長保育、土曜午後保育、障がい児保育、病後児保育、一時保育、特別利用保育等を実施し、町全体として保育サービスの提供体制を確保しているところです。施設・設備面では、建築時期により差異はありますが、必要な設備更新や施設改修を行い、適正な運営に努めているところです。今後、施設の老朽化の状況を見ながら、よりよい保育サービスが提供できるよう改修等の検討を進めてまいります。

番号	提出者	区分		意見の内容	対応方針	
		計画	戦略		方向性	方針
33	個人	-	-	今や3組に1組が離婚する時代、シングルマザー、シングルファザーも増えていて、養育費を支払われていない世帯もかなり多く。金銭的に困窮している家庭も少なくありません。そんな世帯を受け入れ、親子共に心と体を癒し、再スタートをきるための後押しが町としてできたら、新たな働き手の確保、若い世代の人口増加もはかれるのではないのでしょうか？ 実際、シングルマザーとして八頭町へ来ましたが非常に生活しやすいです。移住して気付いた生活の良さを参考までに書き出しておきます。 ・地区の方が優しい ・役場の方が少数精鋭で親身に対応してくださる ・鳥取市に通勤可能エリアのため仕事の選択肢があるほうだと思う ・空き家がある ・家賃、駐車場料金がかなり抑えられる ・都市部に比べ食費が安い(直売所や近所の方からのお裾分けもある) ・無料・安価の遊び場や子ども食堂が近隣に複数ある ・夜間が静かで安心できる ・保育園の環境が最高(建物が新しく、先生も素敵、子どもの人数が多すぎず目が行き届いている) ・児童館や学童保育がある ・町内で習える習い事がある ・交通の便が良い	次期計画又は戦略の策定に当たり考慮	ひとり親家庭の支援については、面会交流助成、養育費にかかる公正証書等作成費用助成、親の就業支援、就学援助、生活貸付、お子さんの就学援助・就学貸付等行っているところです。今後もひとり親家庭への支援を含め、町内で安心して子育てをしていただけるよう各種支援制度や環境整備の充実を図ってまいります。
34	個人	-	-	子育て支援、障がい者支援など利用対象であるけど知らないことで利用できない人があると思うのでいろいろな媒体、方法を使ってお知らせしてほしい。	次期計画又は戦略の策定にあたり考慮	現在、子育て支援施策に関してはHPや案内冊子、母子手帳アプリ等により、障がい者支援に関してはHPや案内冊子、個別の訪問相談による説明により支援策の情報提供等行ってきたところです。今後も子育て支援や障がい者支援をはじめとして、町民の皆さんに有用な情報について、様々な媒体を用いるなどして必要な方に届くよう取り組んでまいります。